



徳成寺 寺ともかわら版 第188号 2022年8月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

残暑お見舞い申し上げます。「土徳（どとく）」という言葉

皆さんご存じでしょうか？先人たちが、過ごして来た積み重ねで

功德が地域中に行き渡り、染み込んで独特の素晴らしい習慣や文化を

育てていることを指します。たとえばお遍路さんに、手厚いお接待をして

差し上げる。こんなことも土徳なのではないでしょうか。土徳が育まれるのは

昨日や今日の事ではありません。何年も何十年も、何百年もかけて少しずつ少

ずつ、木の年輪のように形成されます。浄土真宗の土徳も、まだ存続されている所には

存続しています。決して目立たず派手さはないけど、土徳が継承されています。

お念仏ただ一つの教えに感動して来た人々が、つないで来た土徳が今に継承されて

います。この感動を皆さんと共有していく。この事に生涯を賭して、愚公山を

移すが如く、土徳にまで成らんと念じています。

-発行責任者-
住職
大山健児
坊守
大山ひめ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。参議院選挙の最中、安倍晋三氏が凶弾に倒れ亡くなりました。暮らしている中で全く接点がない人でしたが、それでもショックを受けました。さて、この1ヶ月の間に国葬をするべきか否かの議論があり、9月に国葬する事が決まりました。国葬を報じたニュースサイトのコメントには「税金は生きている人の為に使うべきで無駄遣いすべきではない」という匿名のコメントと賛同を示す1000件以上のいいね!がつけられておりました。公費で実施する事が争点なのは明らかなのですが、何だかとっても寂しい気持ちになりました。無駄と切り捨てるのは簡単ですが、切って捨てた先に何が残るのでしょうか。写真はスーパーマリオに扮する安倍氏です。コロナ禍以前なので五輪も歓迎ムードでした。コロナ禍になると五輪よりも命が大事という抗議デモがありました。命は大事ですが、葬儀をするのは無駄なのではないでしょうか。この機会に大事な事は何かを一度立ち止まって考える必要があるのではないかと感じました。

